

## 2-3 上位・関連計画の整理

## 2-3-1 関連する主な計画との関係

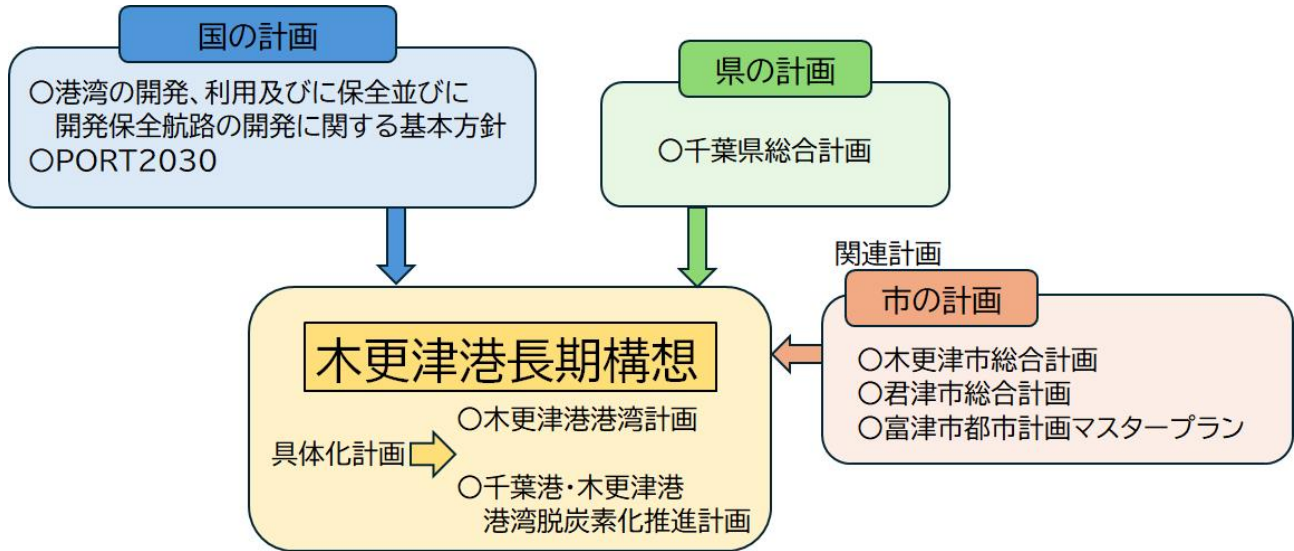


図 2-3-1 関連する主な計画との関係

## 2-3-2 国の計画

(1) 港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(令和6年4月)【国】

国土交通大臣は、港湾の開発、利用並びに開発保全航路の開発に関する「基本方針」を定めることとされています(港湾法第3条の2第1項)。「基本方針」は、国の港湾行政の指標であり、港湾管理者が個別の港湾計画等を定める際の指標となるものです。

### 港湾の開発、利用及び保全並びに 開発保全航路の開発に関する基本方針(R6.4)

#### 【港湾の開発、利用及び保全の方向に関する事項】

#### 1. 特に戦略的に取り組む事項

(1) 我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成

- ① グローバルバリューチェーンを支える国際海上輸送網の構築と物流機能の強化
- ② 資源・エネルギー・食糧の安定確保を支える国際海上輸送網の構築
- ③ 将来にわたり国内物流を安定的に支える国内複合一貫輸送網の構築
- ④ 我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成

(2) 観光立国と社会の持続的発展を支える港湾機能の強化と港湾空間の利活用

- ① 観光を我が国の経済成長・地域活性化につなげるクルーズの再興
- ② 観光振興及び賑わい創出に資する港湾空間の利活用
- ③ 海洋再生可能エネルギーの利用及び脱炭素化に資する港湾空間の利活用の推進

(3) 国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保

- ① 災害等から国民の生命・財産を守り、社会経済活動を維持する港湾・輸送体系の構築
- ② 船舶航行及び港湾活動の安全性の確保

#### 2. 引き続き重点的に取り組む事項

- ① 地域の暮らし・安心を支える港湾機能の確保
- ② あらゆる人に優しく安全で快適な港湾の実現
- ③ 良好な港湾環境の保全・再生・創出
- ④ 循環型社会のより一層の進展とグローバル化に対応した静脈物流網の強化
- ⑤ 国土の保全への配慮
- ⑥ 国際海上輸送の信頼性と安全性を確保する港湾保安対策等の推進
- ⑦ 港湾空間に求められる多様な要請への対応と港湾空間の適正管理
- ⑧ 新たな海洋立国の実現に向けた海洋政策の推進

#### 3. 時代の変化に対応するとともに生産性の高い港湾マネジメントの推進に向けて取り組む事項

- ① サイバーポートによる港湾の電子化
- ② コンテナターミナルにおける生産性向上や労働環境改善のための AI ターミナルの実現及び技術開発の推進
- ③ 持続可能な港湾開発等のための港湾関連技術の生産性向上及び働き方改革の推進
- ④ 柔軟性を持ったストックマネジメントと港湾間の連携の推進

出典: 港湾の開発、利用及び保全並びに 開発保全航路の開発に関する基本方針令和6年4月(国土交通省)

## 【基本方針の変更概要】

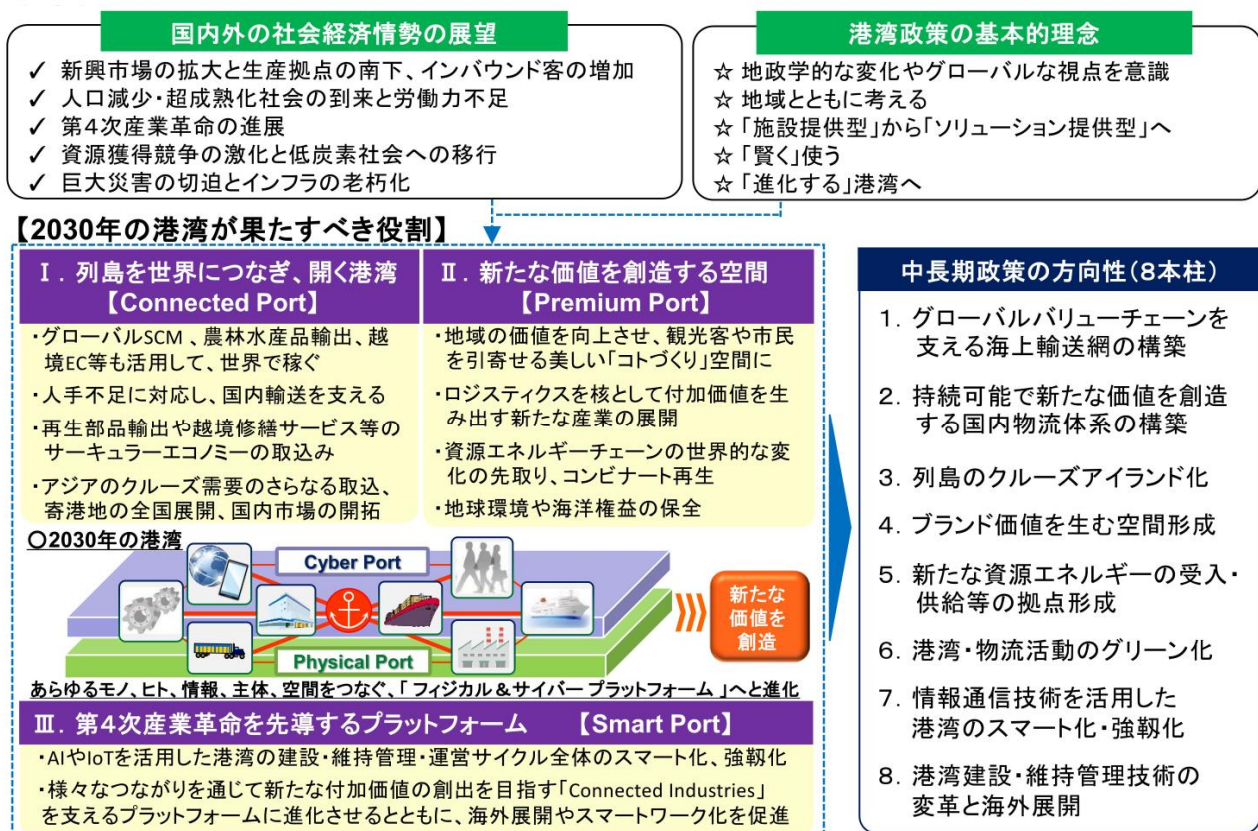
令和4年12月16日の「港湾法の一部を改正する法律」の施行に伴い、交通政策審議会港湾分科会での審議等を踏まえ、基本方針が変更された。

- 港湾における脱炭素化の推進を図るため、港湾の役割や官民の関係者による脱炭素化への取組等について内容を追加
- パンデミック・災害の際の港湾機能の確実な維持を図るため、感染症の感染拡大等の新たなリスクが発生した場合の国による体制強化に関する事項を更新
- 港湾の管理、利用等の効率化と質の向上を図るため、民間の活力を最大限活かして、緑地等の再整備等を効果的に推進することについて内容を追加
- 気候の変動への適応として港湾等の役割を果たすため、臨海部の防災・減災対策等について内容を追加。また、港湾における電子化の推進を図るため、「サイバーポート」の構築等の取組等について内容を更新。
- その他、本格的なクルーズの再開を目指した取組等に関する事項を追加又は更新

## (2) PORT2030(中長期政策の方向性(8本柱))(平成30年7月)【国】

「港湾の中長期政策『PORT2030』」は平成30年7月31日に公表され、今後、特に推進すべき港湾政策の方向性等が取りまとめられています。

政策は8本柱として掲げられており(下図参照)、2030年に向けて政策を実施するとしています。



出典:PORT2030(国土交通省)より抜粋

図 2-3-2 PORT2030 の概要

## 2-3-3 千葉県の計画

## (1) 千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～(令和4年3月)【千葉県】

千葉県総合計画は、県政運営の基本となるもので、本県の政策の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。

港湾については、「災害に強いまちづくりの推進」、「半島性を克服する交通ネットワークの強化」、「社会資本の適正な維持管理」、「地球温暖化対策の推進」の施策が整理されています。

千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～(R4.3)
【基本理念】～千葉の未来を切り開く～「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現
【基本目標・目指す姿】 Ⅰ 危機管理:危機管理体制の構築と安全の確保 Ⅱ 産業・社会資本:千葉経済圏の確立と社会資本の整備 Ⅲ 医療・福祉:未来を支える医療・福祉の充実 Ⅳ 子ども:子どもの可能性を広げる千葉の確立 Ⅴ 共生:誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現 Ⅵ 自然・文化:独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造
【県づくりの方向性】 (内房ゾーン)道路網を介した他地域との交流機能を生かし、幅広い産業を活用した地域振興を図る
【港湾に関連する記載】
【施策項目(Ⅰ-2-①)】:災害に強いまちづくりの推進 ◇目標:県民の生命・身体・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、地震や風水害など災害に強い社会資本の整備等を進めます。また、農林漁業者の安定した経営や農山漁村の安全・安心な暮らしを実現します。 ◇取組の基本方向:災害時に物資輸送の拠点ともなる港湾施設の耐震化を更に進めます。 ◇主な取組(Ⅰ-2-①-1):災害に強い社会資本の整備 緊急物資などを輸送できる耐震強化岸壁の整備を推進します。
【施策項目(Ⅱ-3-①)】:半島性を克服する交通ネットワークの強化 ◇目標:県民のくらしや企業活動を支える公共交通網の充実や、道路・港湾の整備により、本県の半島性を克服し、県内外の交流を活性化します。 ◇取組の基本方向:港湾については、大型船舶に対応した岸壁の整備や土地造成によるふ頭再編、官民一体となった戦略的なポートセールスを行うとともに、魅力ある海辺空間の整備を進めます。また、地域の特性に応じた地方港湾の整備を推進します。 ◇主な取組(Ⅱ-3-①-3):港湾の整備・振興 千葉港、木更津港及び館山港においては、まちづくり事業と連携し、港湾緑地、地域のにぎわいの拠点となる旅客船ふ頭やクルーズ船の受入環境の整備を推進します。
【施策項目(Ⅱ-3-②)】:社会資本の適正な維持管理 ◇目標:安定的な公共サービスを提供できるよう、老朽化する社会資本に対して、定期的な点検と適切な維持管理を行うことにより長寿命化を進めます。 ◇取組の基本方向:既存の道路・河川・海岸・港湾・公園・上下水道などの社会資本を適切かつ効率的に維持していくため、引き続き計画的な維持管理に努めます。 ◇主な取組(Ⅱ-3-②-1):既存施設の適切な維持管理と長寿命化 港湾の維持管理にあたっては、点検・評価・計画・補修のメンテナンスサイクルを着実に実施するとともに、これまでの事後的な修繕・更新から予防的な修繕へと転換し、各施設の長寿命化を推進します。
【施策項目(Ⅵ-2-①)】:地球温暖化対策の推進 ◇目標:県民、事業者、行政など全ての主体が一体となって、温室効果ガスの排出量を削減し、地球レベルでの地球温暖化対策に取り組むことにより、持続可能な脱炭素社会づくりを推進します。また、気候変動の影響に対する適応への取組を推進します。 ◇取組の基本方向:脱炭素を目指すまちづくりや交通環境の整備に取り組みます。 ◇主な取組(Ⅵ-2-①):温暖化対策に資する地域環境の整備・改善 港湾の屋外照明施設のLED化を推進します。

出典:千葉県総合計画(千葉県)より作成

## 2-3-4 木更津港背後地域の計画

- (1)木更津市総合計画(未来創生木更津トランスフォーメーション(KX)木更津市第3次基本計画)(令和5年3月)
- 木更津市総合計画は、木更津市基本構想に掲げる将来都市像「魅力あふれる 創造都市 きさらづ ～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～」の実現に向けた、今後のまちづくりの展望、重点戦略の推進、基本政策別の施策の方向性を示し、木更津市のまちづくりの新たな指針が整理されています。
- 木更津港については、「大型クルーズ船の寄港を促進」、「大型クルーズ船受入可能な環境整備の推進」等の取組が整理されています。

木更津市第 3 次基本計画(R5.3)

【計画の構成】

基本構想

目標年次 令和 12 年 (2030 年)

内 容

【将来都市像】  
魅力あふれる 創造都市 きさらづ  
～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～  
  
【基本理念】  
人・結ぶ・創造・躍動  
  
【将来人口】  
14 万人と見込む

基本計画

対象年次 令和 5 年度 (2023 年度) ～令和 8 年度 (2026 年度)

内 容

第 1 章 第 3 次基本計画策定にあたって  
第 2 章 第 3 次基本計画 施策別計画  
第 3 章 第 3 期まち・ひと・しごと創生総合戦略

実施計画

対象年次 単年度

内 容

基本計画を推進するため、重点的・優先的に取り組む事業を位置づけた計画

【港湾に関連する記載】

基本方向 04 まちのにぎわい・活力づくり

-基本政策 03 観光の振興／施策 25:観光の振興

◇目標：多様な観光資源を活かしたまちのにぎわいをめざし、本市が有する自然や歴史・文化、観光施設等の魅力ある観光地域づくりを推進します。

◇主な取組 25-1:観光誘客の推進(観光振興課)

・木更津港への大型クルーズ船の寄港を促進します。

基本方向 05 まちの快適・うるおい空間づくり

-基本施策 03 交通環境の充実／施策 34:港湾機能の充実

◇目標：多様な機能が融合した魅力ある港湾空間の形成をめざし、内港地区における海辺のにぎわい空間づくりや木更津南部地区における物流機能の強化並びに大型クルーズ船の受入環境の整備を推進します。

◇主な取組 34-1:港湾環境の整備(産業振興課)

・多様な機能が融合した港湾空間の形成及び開放的な親水空間や交流の創出に向けて、「木更津港港湾計画」における内港のにぎわいづくりの拠点となる交流厚生用地の早期整備実現を港湾管理者である県とともに推進します。

◇主な取組 34-2:港湾の活用(産業振興課・観光振興課)

・大型クルーズ船受入可能な環境整備を県と共に推進し、寄港に向けた取組を行います。

指標	現状値	目標値	備考
県港湾計画の進捗率	29.3% (令和 3 年度)	88.0%	県と連携を図り、県港湾計画に基づく事業の進捗率の向上をめざす。

出典:未来創生木更津トランスフォーメーション(KX)木更津市第3次基本計画(令和5年3月)(木更津市)より作成

(2) 君津市総合計画

君津市総合計画は、本市が目指すべき将来の姿を示すとともに、その実現に向けた取組の方向性を示す“総合的な行財政運営の指針”であり、まちづくりにおける最上位の計画として位置付けられ、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つの階層により構成されている計画です。

環境に関する記載として、「脱炭素社会の推進」が整理されています。

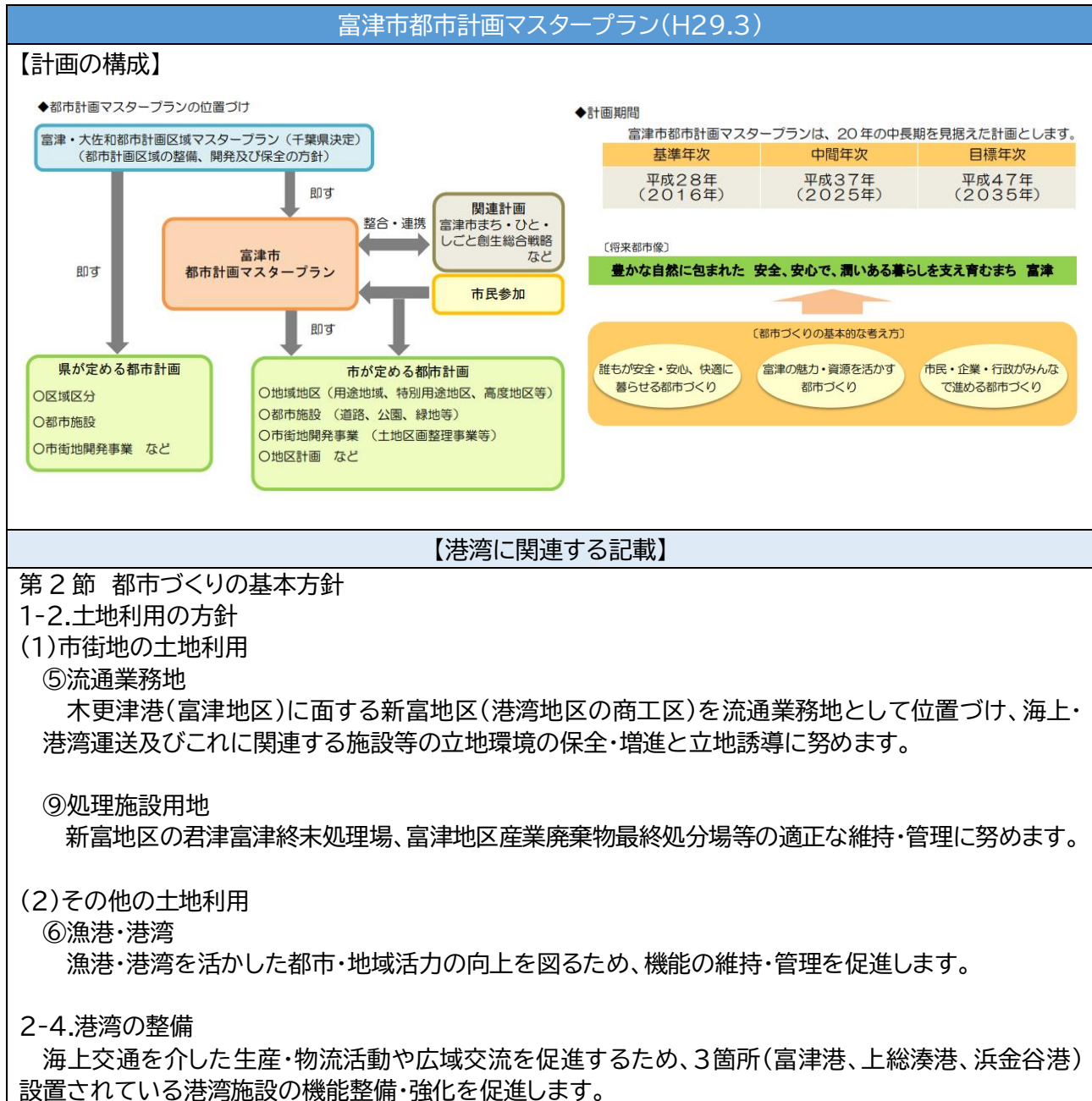


出典: 君津市総合計画 概要版より作成

### (3) 富津市都市計画マスタープラン(平成 29 年 3 月)

都市計画マスタープランは、都市計画法に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、市や県の関連する計画と整合・調整を図り、市の将来都市像を定め、具体的なまちづくりの計画を決定又は変更する際に、まちづくりの基本姿勢や施策の方向性が示されている計画です。

港湾に関する施策の方向性として、「生産・物流活動や広域交流の促進」、「港湾施設の機能整備・強化の促進」等が整理されています。



## 【港湾に関連する記載】

### 第2節 都市づくりの基本方針

#### 1-2.土地利用の方針

##### (1)市街地の土地利用

###### ⑤流通業務地

木更津港(富津地区)に面する新富地区(港湾地区の商工区)を流通業務地として位置づけ、海上・港湾運送及びこれに関連する施設等の立地環境の保全・増進と立地誘導に努めます。

###### ⑨処理施設用地

新富地区の君津富津終末処理場、富津地区産業廃棄物最終処分場等の適正な維持・管理に努めます。

##### (2)その他の土地利用

###### ⑥漁港・港湾

漁港・港湾を活かした都市・地域活力の向上を図るため、機能の維持・管理を促進します。

#### 2-4.港湾の整備

海上交通を介した生産・物流活動や広域交流を促進するため、3箇所(富津港、上総湊港、浜金谷港)設置されている港湾施設の機能整備・強化を促進します。

出典:富津市都市計画マスタープラン(富津市)より作成